



京大・理・生物

理学研究科生物科学専攻

# 生物多様性コロキウム

## 頭足類アンモナイトの繁栄と絶滅 —現生オウムガイ類と比較して—



講師：田近 周

チューリッヒ大学 古生物博物館 博士課程

他専攻からも来聴歓迎！

日時：2016年 1月26日(火) 13:30～  
15:00 場所：理学2号館315号室

アンモナイト類とオウムガイ類は共に外殻性の頭足類である。白亜紀末に起きた大量絶滅事変において、アンモナイトは絶滅したが、オウムガイは絶滅を逃れ、現在に至るまで生存している。一見、形態的に非常に類似した生物である両者において、なぜアンモナイト類のみが絶滅してしまったのか。この問いに対しては依然として明確な答えが与えられていない。本コロキウムでは、白亜紀末の大量絶滅における最も大きな謎のひとつである、アンモナイトの絶滅、オウムガイの生存、に関わる最新の研究結果を紹介し、どのような生存戦略が彼らの運命を決定付けたのか、を議論していく。

Biodiversity  
Colloquium

世話人：

生物科学専攻 動物学教室

中務真人・森本直記 内線4086